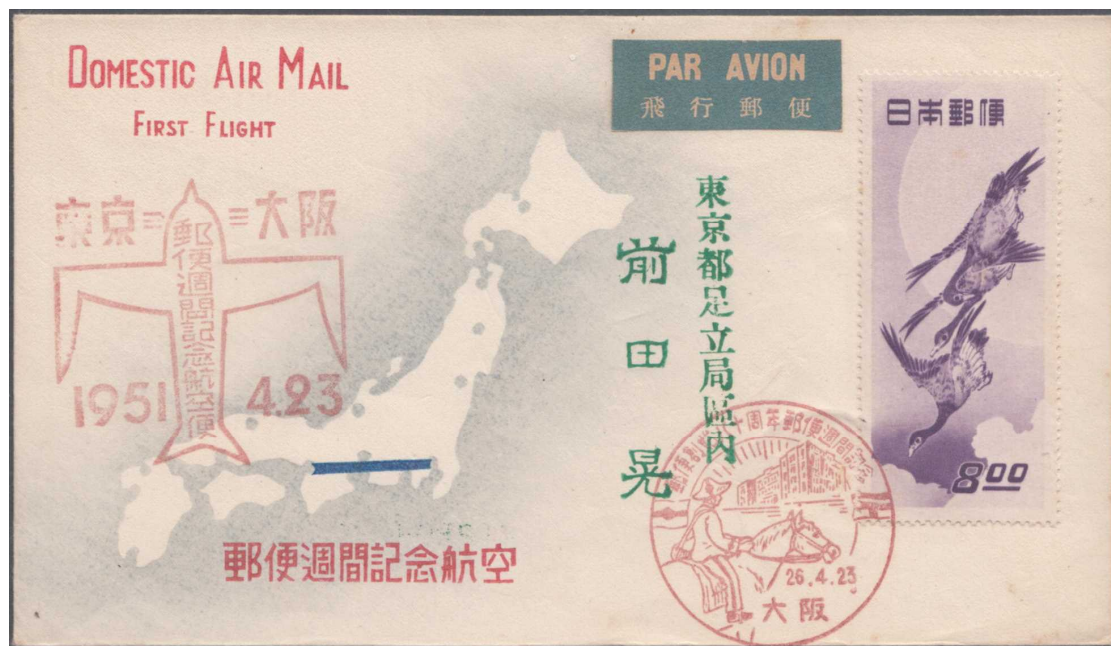


郵便週間記念航空便

石原 正



記念飛行便 大阪→東京

郵便週間記念特印 大阪 26.4.23

戦前に開始した国内航空郵便制度は戦争のため停止されていましたが、1951年になって再開の準備が進められました。正式な制度再開は同年10月となりましたが、それに先だって4月の郵便週間に記念飛行が実施されました。この記念飛行では、特別料金なしにFFCを作成することができました。上の記念便は著名収集家あてですが、郵便週間の記念事業ということで、1年半前に発行された「郵便週間記念」

(月に雁)が貼られています。この年の郵便週間の記念切手発行はありませんでしたが、特印は使用されました。

裏面には東京中央のほか、足立局の到着印も押されています。料金は普通便並みでも航空便だから、ということでしょう。



国内航空便制度は、その後「五重塔航空」の発行を経て10月24日に正式実施されました。しかし速達郵便制度との違いがわかりにくかったこともあって、2年足らずで速達郵便制度と統合され、短期間で終了してしまいました。(編)